



氏名	菊地 捷
所属	経済学部 経済学科
学年	2年
留学先	ビクトリア大学 ME
留学期間	2025/3/2~2025/3/30

留学レポート Study Abroad Report

<初めに>

私は幼いころから海外サッカーを観戦しており、次第に海外の文化や言語に興味を持つようになりました。それに加えて、父と姉の影響で洋楽を聴くようになり、さらに海外への関心が高まりました。高校生の頃には、二週間のイギリス語学研修プログラムに参加したいと考えていましたが、コロナウイルスの影響で実現できませんでした。しかし、今回のカナダ留学によって、ついに一つの夢を叶えることができました。今回の留学の目的は、英語力の向上はもちろんのこと、行動力を磨くことにもありました。ホームステイという環境では、英語でのコミュニケーションが必要不可欠です。自分から積極的に話しかけ、ホストファミリーやクラスメイトと交流することで、ただ英語を学ぶだけでなく、異文化の中で主体的に行動する力を養うことができると考えていました。

<授業>

私が通った大学のプログラムでは、午前と午後の2つのクラスがあり、間にランチタイムを挟むスケジュールでした。授業の中心はディスカッションであり、生徒同士の会話が求められる場面が多くありました。最初は、自分の意見を英語で伝えることに戸惑いを感じましたが、授業を重ねるごとに積極的に発言できるようになりました。また、日本人の多くが正しい発音を身につけていないため、発音のミスがあればすぐに指摘されることもありました。このような環境は、発音の改善に非常に役立ちました。さらに、先生やクラスメイトが常にフィードバックをくれたことで、英語を話すことに対する抵抗が少しずつ薄れていきました。

<ホームステイ>

私のホームステイ先は、父、母、兄、妹の四大家族でした。初日から、ホストファミリーは私を温かく迎えてくれ、家の近くの公園に一緒に出かけるなど、すぐに打ち解けることができました。特に、兄妹とは放課後に一緒に遊ぶことが多く、自然な形で英語に触れる機会を得ることができました。よく「子どもと話すと言学の上達が早い」と言われますが、その通りだと実感しました。彼らは難しい単語を使わないため、スムーズに会話を楽しむことができ、英語を話すことへの自信につながりました。また、ホストファミリーは毎日おいしい食事を提供してくれました。食事の時間は、英語での会話をする絶好の機会でもあり、日々の出来事を話したり、文化の違いについて教えてもらったりしました。このような日常の積み重ねが、留學生活の中で非常に貴重な経験となりました。

<放課後の活動>

授業が終わった後は、現地の学生とサッカーをすることが多くありました。サッカーは言語を超えた共通のコミュニケーションツールであり、初対面でも一緒にプレーするだけで自然と仲良くなることができました。言葉が十分に通じなくても、プレーを通じて信頼関係を築くことができたのは、私にとって大きな

発見でした。また、クラスメイトと協力してプレゼンテーションを行う機会もありました。特に、韓国人のクラスメイトとパートナーを組んだ際は、英語での意思疎通に苦労しました。お互いに母国語が異なるため、伝えたいことがうまく伝わらない場面も多々ありました。しかし、その都度ジェスチャーを交えたり、シンプルな言葉を使ったりすることで、少しずつコミュニケーションを取れるようになりました。この経験を通じて、言葉の壁を越えるための工夫や努力の大切さを実感しました。

<得たもの>

今回の留学は1か月という短期間でした。そのため、スピーキング力やリスニング力が劇的に向上したとは言えませんが、それ以上に大きな収穫がありました。まず、英語への興味がさらに強まり、「もっと話せるようになりたい!」という気持ちが以前にも増して高まりました。英語学習に対するモチベーションが格段に上がり、帰国後も継続して勉強を続けよう強く思っています。また、異文化の中で生活することの難しさや面白さを実感しました。日本とは異なる価値観や生活習慣に触れることで、自分の視野が広がり、柔軟な考え方を持つことの重要性を学びました。

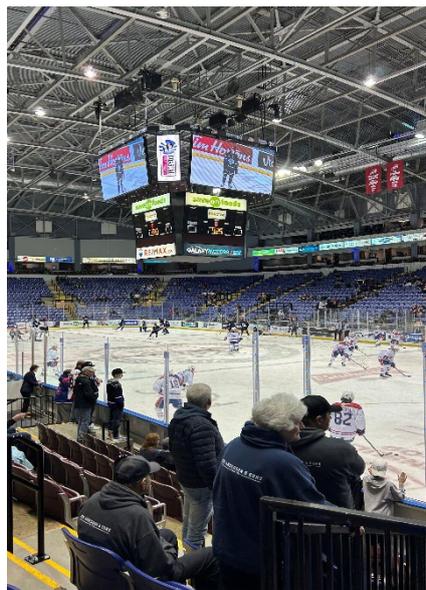
<まとめ>

今回の留学は、私にとって非常に貴重な経験となりました。英語力の向上だけでなく、自分の行動力や異文化適応力を試す機会にもなりました。短期間の留学ではありましたが、多くの学びと気づきを得ることができました。

この経験を糧に、今後も成長し続け、より広い世界で活躍できるよう努力していきたいと思います。これから留学を考えている人には、「積極的に行動することが何よりも大切だ」と伝えたいです。自分から一歩踏み出すことで、より多くの学びが得られることを実感しました。



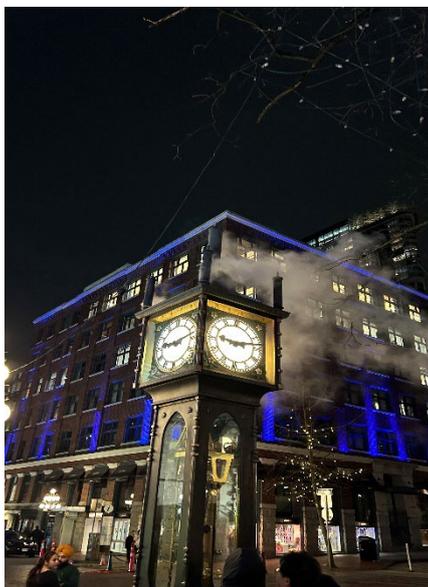
Tim Hortons



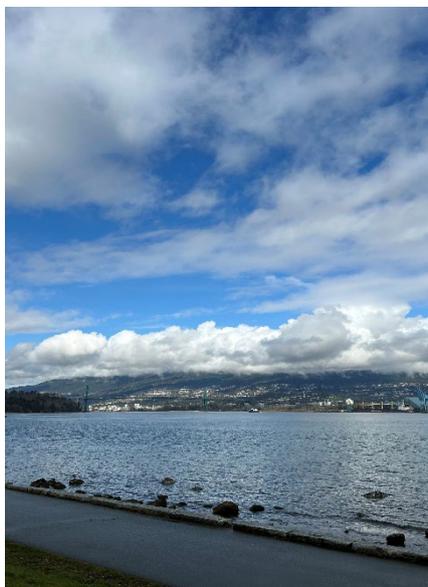
アイスホッケー



大学近くのビーチ



バンクーバー 蒸気時計



スタンレーパーク



アイリッシュパブ